

本田選手 稲で再現

1会場増え、計4カ所に

小山市「田んぼアート」

【小山】市は26日までに、地方創生の一環として2011年から毎年行っている田んぼアートについて、今年の絵柄にサッカーのイタリア1部リーグ（セリエA）、ACミランの本田圭佑選手などを選んで発表した。会場は昨年までの渡良瀬遊水地、絹、美田の3カ所に加え、乙女地区にも設ける。市農村整備課は「田んぼアートを通じて農村の活性化のほか、市や関係者をPRすることで経済効果を生み出していきたい」としている。（平井星）

来月田植え、農村活性化

田んぼアートは色が異なる複数の古代米の穂で絵柄を描く。今年は渡良瀬遊水地会場が本田選手、絹会場は栃木ゴールデンブレーブは鉄腕アトムとユニコ、美田会場は人気ロードレース漫画「弱虫ペダル」と宇都宮ブリッツェン、乙女会場は栃木ゴールデンブレーブは鉄腕アトムとユニコ、美田会場は...

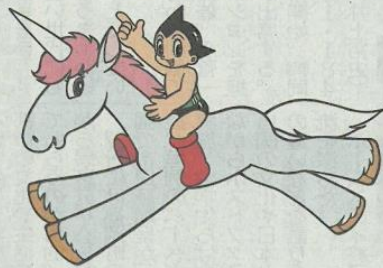
田植えを始め、7月中に見頃を迎える見通し。

田んぼアートで描かれる本田選手（中央）
 〓本田圭佑オフィシャルインスタグラムより引用



昨年は、アフリカで日本アニメの放送や土壌改良材の販売などに携わる「太陽インダストリーアフリカ」（東京都文京区）の伊藤政則社長が仲介し、漫画家手塚治虫さんのアニメキャラクター「鉄腕アトム」や「ブラック・ジャック」、「シヤングル大帝レオ」を描いて販売。付加価値の高い生産品を創出する事業が認められ、国の地方創生加速化交付金として約2100

万円が配分された。だが今年も伊藤さんを通じて本田選手本人や事務所からの許可を得ることで実現した。市は6次産業化を進めており、昨年は収穫したコメを田んぼに描いた絵柄にちなんで「十万馬力」と命名して販売。付加価値の高い生産品を創出する事業が認められ、国の地方創生加速化交付金として約2100



田んぼアートに描かれる「アトムとユニコ」
 (©Tezuka Productions)

万円が配分された。だが今年も伊藤さんを通じて本田選手本人や事務所からの許可を得ることで実現した。市は6次産業化を進めており、昨年は収穫したコメを田んぼに描いた絵柄にちなんで「十万馬力」と命名して販売。付加価値の高い生産品を創出する事業が認められ、国の地方創生加速化交付金として約2100